

簡易郵便局を訪ねて 126

花と彫刻のある簡易郵便局

山方諸沢簡易郵便局 (茨城県常陸大宮市)



局長
中島 京子

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



当局は一九二八年に義祖父が村役場の要請を受け開局しました。戦中にはどの様な営業がされていたかは分かりませんが、戦後は復員してきた義父が、特定郵便局長として長年勤めてきました。この間に地域も、「村」から「町」(現在は「市」と変わりながら「人口減少」が顕著となつていき、このために「特定郵便局」から「簡易郵便局」になることとなりました。



山方諸沢簡易郵便局外観

た。このときはすでに退職していた義父や主人(他業種)の勧めがあり、子育て中でありま



窓口の様子

したが局長(受託者)となることを決めました。

局舎は、旧特定局のものをそのまま使うこととしましたが、三十年以上使われてきた建物は、汚れが目立ち修繕箇所も多くなってきましたし、一人で営業するには広過ぎました。そんなわけで二〇二四年に自宅の脇に新局舎を建てて移転いたしました。

局舎を新しくする上で目標としたことは、「過疎化が進み、お店も学校もなくなってしまう里山に在りながら、存在感のある局舎

・利用される方々に愛される局舎」でした。これは、主人が退職を考えるようになった頃から、「寂しくなっていく地域の道路端や休耕田畑に花を植える活動を始めたこと」に起因します。

また、この局のシンボルとなっている「ブロンズ像 フローラ」は、主人の友人が寄贈してくれたものです。年に何度か来られる方で新局舎を建てる話をしたところ、主人の意図を汲んで作品を制作してくれました。もう一体の「塑像立帆」は、彼の大学の教え子の作品です。山の中の郵便局に塑像があるのは珍しく、これを目当てに来局する方もおられます。



フローラ像

私たちだけでなくこの里山の良さに惹かれた方がいらつしやう、他の市にお住まいの方ですが、自然を活かした「閑絶マラソン」を企画・開催された方がいらつしやいますし、この地の漆に惚れられて東京から家族で移住されてきた「蒔絵作家」の方もいらつしやいます。町時代に建てられた温泉施設「三太の湯」は日帰り温泉として有名です。この他にも、「こん

にやくの神様といわれる中島篠衛門の生家」・「西野内和紙」・「瑞瑞の産地」など知る人ぞ知ります。

施設や文化的なもの・イベントなどでこの地も、ある程度認知されて来っていますが、当局を利用されるお客さまは地元の方がほとんどであり、皆さんご高齢です。このためお客さまが来られたときには、明るく笑顔でお迎えするようにしていますし、郵便や貯金関係の改正等があった場合には、不安や戸惑いを抱かないようこちらからの声掛けなどに努めています。物品を置き忘れて帰る方もおりますので、局を出られるまで気を遣います。

これからもお客さま第一と考え、間違いない業務を心がけていきたいと思ひます。

住所 〒319-3108 茨城県常陸大宮市

諸沢四二八〇一

